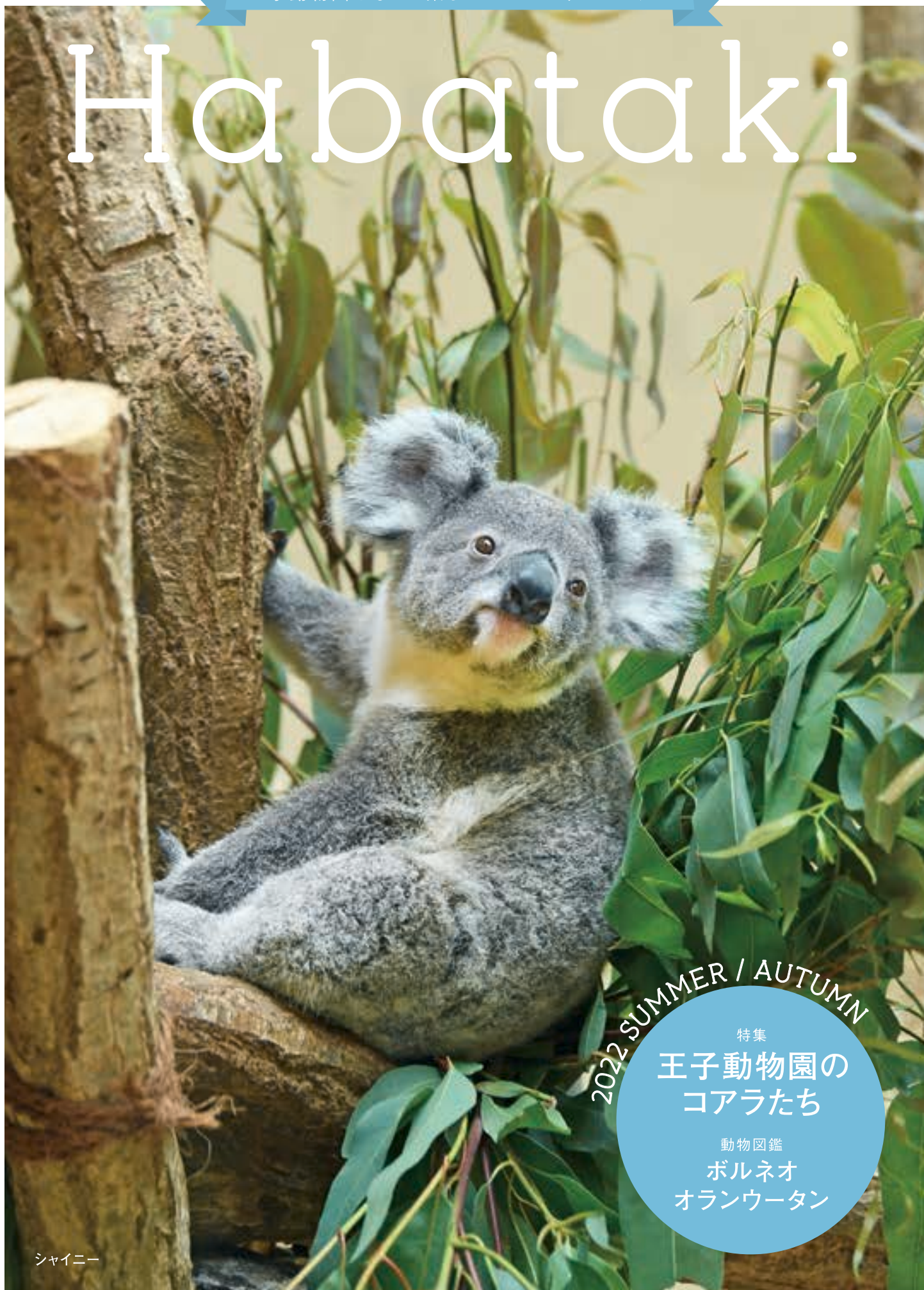


王子動物園をもっと楽しむためのフリーマガジン

Habatuki



2022 SUMMER / AUTUMN

特集

王子動物園の
コアラたち

動物図鑑

ボルネオ
オランウータン

シャイニー

王子動物園の

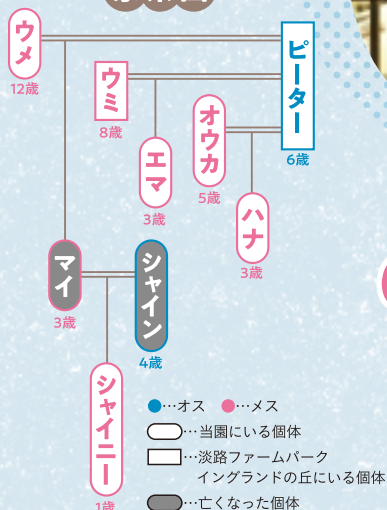
コアラ初来園から今年31年目を迎える当園では、現在5頭が暮らしています。昨年誕生した赤ちゃんの成長ぶりや個々の魅力、旅立った仲間たちなど、最新の様子を飼育員の話とともにお届けします。

父親の愛嬌の良さで人気者に!



シャイニー

コアラファミリー 家系図



ウメ



何事にも動じない頼もしいタイプ

リニューアルした 止まり木

今年春、止まり木を改修。環境エンリッチメントに沿った工夫を加え、木と木の間に横木を設けたり、高低差を持たせた立体的な作りを採用したため、より動きやすくなりました。餌場以外で過ごす様子や木の間に飛んで移動する姿など、これまでにない動きが見られるようになりました。

赤ちゃんもスクスク成長中!

個性豊かなコアラファミリー

「平和主義で人懐こい子が多いですね」(佐藤)という現在のコアラ舎。2014年以降、ほぼ毎年赤ちゃんが誕生しており、昨年5月、父「シャイン」(4歳・今年1月死去)と母「マイ」(3歳・今年6月死去)の間に生まれた女の子「シャイニー」もスクスク成長し、「一番、かわいい時期」(坂本)を迎えています。「近頃父親に似てきて、顔も愛嬌(あいきょう)のある性格も」(佐藤)。加えて「今1歳ちょっとですが、上手く自立しました。2歳近くまで親から離れられず、人が触ったら嫌がって逃げる子もいますが、シャイニーは全然平気」(坂本)。それはマイの子育て法も大きかったとか。「マイは初産ですが、授乳も上手で、過保護になり過ぎず本当にいい親だった。少し神経質でしたが、出産後はどっしりとした肝玉母さんでしたね」(坂本)と、その変化に目を細めます。

そんなマイの母「ウメ」は今年12歳に。「出産経験も多く、北方系(※)では国内でも高齢になるので、気に掛けています。シャイニーと比較しながら観察してもらえれば」(坂本)。そのウメの娘の1頭で、2014年に王子で17年ぶりの赤ちゃんとなった「ウミ」(8歳・昨年9月転出)も娘2頭を残しています。第

一子の「オウカ」(5歳)は娘「ハナ」(3歳)と同居中で、こちらも互いに程よい距離を保つマイベース母娘。特にハナは「最近おじさん化していて、休園日にはお腹を上にして足を伸ばし、コアラらしくらぬ寝方をします(笑)」(坂本)と意外な一面も。第二子の「エマ」(3歳)は「ウミから独立後は人懐こくなって、愛嬌もあって面白いですね」(坂本)と発達をのぞかせます。

個性派ぞろいの5頭ですが、ウメ以外は王子生まれ王子育ち、ウメも両親は王子出身とその血統をつなげています。シャインが死去したことや「ピーター」(6歳)転出でオス不在の中、「みんなお年頃になってきたので、いいタイミングでオスも受け入れられればいいなと考えています」(坂本)と、コアラ繁殖維持に向けた今後の進展にも希望が持てます。



坂本健輔飼育員



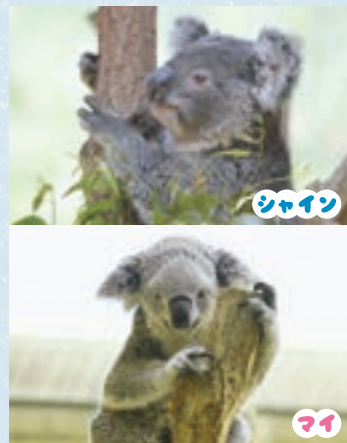
佐藤公俊飼育員

コアラたち



淡路で元気に暮らしているよ

オーストラリアで絶滅危惧種であるコアラ。日本でも各飼育園館が保全に尽力し、昨年9月にピーターとウミが淡路ファームパークイングランドの丘動物園へ移動。「相変わらずやんちゃのよう」(坂本)という北方系のピーターと「ファンの方の話では、ウミは南方系のオスからも熱い視線を受けているそう」(佐藤)と、赤ちゃん誕生に期待が高まります。



2022年、2頭の仲間がお別れ

2022年は悲しい別れが続きました。「愛嬌のあるコアラで、お客さんからもとっても人気がありましたね」(坂本)というシャインが1月にリンパ腫により死亡。また、6月にはマイも生殖器系の腫瘍のためこの世を去りました。

2頭の一粒種であるシャイニーは、マイと同じエリアで仲良く過ごしていましたが、現在は1頭で立派に独り立ちしています。



生息地
ボルネオ島の
低地の森林に
生息する

ボルネオオランウータン

ボルネオオランウータン

英名：Bornean Orangutan	学名：Pongo pygmaeus
界：動物界 Animalia	目：霊長目 Primates
門：脊椎動物門 Vertebrata	科：ヒト科 Hominidae
綱：哺乳綱 Mammalia	属：オランウータン属 Pongo

基本DATA

全長：約80～140cm
体重：約40～90kg
食性：雑食
繁殖形態：胎生

熱帯雨林の広がるボルネオ島で生息しています。独生活者ですが遊動域は重複し、メスは約10歳で成熟、3～6年に1度1頭を出産すると子どもが7～10歳で独立するまで一緒に暮らします。



ZOOM IN のとぶくろ

オスは大きな喉袋を持ち、ロングコールと呼ばれる鳴き声で縄張りの主張や求愛をします。

【もりのひと】

森の恵みの中で生きる赤毛の賢者

オランウータンの名はマレー語の「orang=人」「hutan=森」に由来。ヒトと同じ霊長目ヒト科に属し、知能が高い動物です。当園に暮らす「ムム」(オス・13歳)も、人が話す簡単な単語は理解しており、他の類人猿に比べ感情表現は控えめですが、高い洞察力をうかがわせます。また、人とよく似た指紋がある手は親指は短いものの、道具を上手に使うことができます。繊細な性質で、信頼関係を築くには時間をかけた丁寧なコミュニケーションが必要です。

【じゅじょうせいかつ】

比類なき霊長類最大の樹上の住人



樹上で暮す霊長類の中では最大の種で、野生では生活のほとんどを木の上で過ごし、地上に降りることはあまりありません。移動には脚の約1.5倍ある長い腕を使い、体を振り子のように動かして木々を渡ります。その距離は1日でおおよそ500m前後です。主に果実を食べ、果物が少ない時期は木の葉や樹皮などを食します。

動物を語る

アムールトラの フンを分析し、 生息実態を明らかに

ロシア極東の沿海州南西部地域で、アムールトラが何頭生息し、何を食べて暮らしているのか、そして他の地域のトラと交流はあるのか、というアムールトラの生息の実態を明らかにしたい、それが大学院での私の研究テーマでした。このテーマに取り組むために利用したのが、生息地で採集したアムールトラのフンです。フンの表面には腸管上皮細胞が付着しており、フン表面からDNAを抽出することが可能です。抽出したDNAには、警察が犯人の遺伝子型を特定する際と同じ方法で分析し、トラの遺伝子型を調べました。ある年の冬の試料を分析したところ、少なくともオス4頭とメス5頭がこの地域に生息していることが分かりました。またこの地域のトラは、イノシシを主に食べていること、そして道路や鉄道によって移動が制限され、他地域のトラと交流がなく孤立した小集団であることが分かりました。

このように動物を直接観察できなくても、フンの分析で実に多様なことが分かります。私が大学院生の頃に比べて分析技術はさらに進化しており、近い将来、フンから年齢の推定ができるかもしれません。年齢が分かれば、より詳細な血縁関係の解明が期待できます。

幸いなことに、野生のアムールトラは順調に生息数を回復しています。しかし遺伝的にも健全な状態なのかどうかを知るにはDNAを調べる必要があります、そこでフン分析が役立つはずです。

アムールトラの研究プロジェクトが終わってから10年以上が経ちました。研究を通じて育んだロシアの研究者たちとの友情は今も続いており、また極東の森でトラの研究ができる日を楽しみにしています。

兵庫県立大学
自然・環境科学研究所 特任助教
杉本太郎

大阪府出身、北海道大学大学院環境科学院修了、博士(環境科学)。国内外の希少種の保全に関する研究に従事。現在は兵庫県のイノシシの調査研究に取り組む。趣味はトラウトフィッシング。



ZOOM IN ふらんじ

両頬に張り出した膨らみをフランジと言い、「自分は強い」と思うオスだけの特徴。

【おとなのおす】

オスのオランウータンだけが見せる 優劣関係で形態変化する「二型成熟」

大人のオランウータンのオスは、フランジを持つ「フランジ・オス」と、持たない「アンフランジ・オス」の2型が存在します。フランジは社会的な優劣関係に左右され、テリトリーを掌握した最も優位なオスだけが頬の肉ひだを肥大させます。体格差もあり、フランジ・オスはアンフランジ・オスの倍ほどの体重にまで成長することも。優位の個体が近くにいるとアンフランジ・オスは成長しませんが、死亡や闘争など地位変動でフランジが発達することもあるようです。1頭飼育の動物園では、飼育員との関係が影響するといわれています。



【ぜつめつきぐ】

新種が発見された一方、100年前から 約80%が減少し、絶滅寸前の危機に

オランウータンはこれまで各生息地域に棲む「ボルネオ」と「スマトラ」の2種で分類されていましたが、2017年に「タバヌリ・オランウータン」という新種が発見されました。しかし、個体数は100年前に比べて約80%も減少し、現在は絶滅寸前の危機に。その主な原因は、オランウータンの繁殖スピードが非常に遅いことに加え、生息環境での木材輸出のための伐採やアブラヤシなどのプランテーションの拡大、加えて森林火災などによって住処が急速に消滅しているためです。木材や紙、ヤシの油などを海外から大量に輸入している日本人も決して無関係ではありません。

歴史を彩った当園のレジェンドたち

3月からチンパンジーの企画展を開催中。国内長寿チンパンジー10頭に入る当園のレジェンド「ジョニー」「ユキ」「チェリー」を、等身大フィギュア、パネルや掲示物などで振り返ります。毎日15時から、類人猿舎1階通路で展示。



ジョニー



チェリー



ユキ



アムールトラの講演会を開催

アムールトラ「ショウヘイ」の来園や今年の干支にちなんだ講演会を3月に開催。アムールトラの現状や、ロシア沿海州での保護活動の様子を講演しました。約150名の方にご来場いただき、その模様をYouTubeで公開しています。



ショウヘイ



講演会の模様はYouTubeにて期間限定公開中。
<https://www.youtube.com/watch?v=8ZFB8nxslkA>

OJI ZOO NEWS FI

3年ぶりに開催した夜桜通り抜け

恒例の「夜桜通り抜け」はコロナ禍の2年間は中止に。今年は園内での飲食禁止、駐車場の営業なしというコロナ対策の上で開催しました。ほぼ満開のベストな開花状況の中、3日間で約3万人を超える方に夜桜を楽しんでいただきました。



キリン「ひまわり」輸送途上で亡くなる

19年ぶりに当園で生まれたキリンの子「ひまわり」。繁殖を目指しての転出のため、4月12日に岩手サファリパークへ向けて送り出し、無事に到着することを心待ちにしていたが、大変残念ながら輸送途中で亡くなりました。



ひまわり



ひまわりと父・ヒメイチ、母・マリン、アラシ



王子動物園へ一時帰園しズゼにあいさつする結希(2014年)



結希

アジアゾウ「結希」 今後も市原で生活

「マック」と「ズゼ」の子である「結希(ゆうき)」は市原ぞうの国で生まれ、成長してきました。結希の幸福と繁殖のため、今後も同園での生活が最良との判断をいたしました。将来的に市原でオスのゾウが生まれた際は、当園に1頭贈呈予定です。



不要な竹を利用した 竹あかりづくり

株式会社竹千代と当園で『ありがとうタンタン』デザインの竹あかりを作るワークショップを4月から開催。ジャイアントパンダ「タンタン」が食べる淡河町の竹で餌にできない部分を材料に、SDGsに配慮した暮らしに目を向ける企画です。

RST HALF of 2022



シシマル



関西8園館がタッグ カワソリレー配信

世界カワソリの日(5月25日)にちなみ、コツメカワソリを飼育する関西8園館で、SNSでのリレー配信を実施。王子動物園は「シシマル」の紹介と、生息数減少や密輸、SDGsなどについて解説。400名近くの方にご覧いただきました。



配信の様子はYouTubeにてアーカイブ公開中。
<https://www.youtube.com/watch?v=zf9EsCn5qfU>



中国から専門家が来日 健康管理に注力

5月から中国ジャイアントパンダ保護研究センターから専門家2名が来日しました。アドバイザーいただき、日中が協力して「タンタン」の健康管理に注力しています。6月には中国駐大阪総領事も来園いただき、交流を深めました。

開園時間

3月～10月 午前9:00～午後5:00
11月～2月 午前9:00～午後4:30

※ただし、入園時間は閉園の30分前まで。

休園日

毎週水曜日（祝日と重なる場合は開園）
年末12月29日～1月1日

※春休み、夏休み期間中は臨時開園する場合があります。

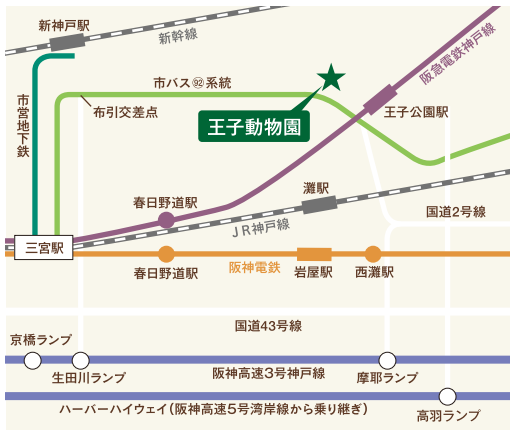
料金案内

	個人	団体		
		30～99人	100～299人	300人以上
大人（高校生以上）	600円	540円	480円	420円
中学生・小学生・幼児 兵庫県在住の65歳以上の方 障害者の方	無料			
	※兵庫県内にお住まいの65歳以上の方は、敬老手帳・運転免許証等の住所・氏名・生年月日がわかるものをお持ちください。また、障害者の方は障害者手帳等をお持ちください。			

年間パスポート		
金額	有効期間	発行場所
3,000円	年間パスポート 作成日より1年間	王子動物園 入園ゲート受付

※ご希望の方は、入園ゲートで年間パスポート申込書に必要事項を記載し、現金を添えてお申し込みください。※王子動物園に入園の際は、必ず係員に提示してください。※申込者（年間パスポートに記載のある氏名の方）以外は使用できません。違反が判明した場合は年間パスポートを返還していただきます。※本券の再発行はいたしません。※写真欄はご本人の顔写真をお貼りください。

アクセス



電車

- 阪急「王子公園」駅より西へ徒歩3分
- JR「灘」駅より北へ徒歩5分
- 阪神「岩屋」駅より北へ徒歩10分
- 神戸市バス92系統「王子動物園前」バス停下車すぐ
- 新幹線「新神戸」駅よりタクシー10分、または「布引」バス停より市バス92系統

車

- 阪神高速3号神戸線 摩耶ランプを降りて、北へ「西灘」交差点を左折10分
- 生田川ランプを降りて、北へ「布引」交差点を右折15分
- 阪神高速5号湾岸線 住吉浜ランプを降りて、「高羽」交差点右折、「弓木4」交差点を左折15分

駐車場

王子公園駐車場 料金（30分ごとの時間制）			
乗用車	～2時間	2～4時間	4時間～
	150円	100円	50円
バス	500円		
	※ただし、3,000円を上限とします。 ※土曜・日曜・祝日はバスの駐車ができません。		

三宮・花隈駐車場の利用割引

市立三宮駐車場・市立花隈駐車場を利用し、公共交通機関でご来園された場合、駐車料金を3時間まで割引します。駐車券を動物園まで持参し、管理事務所で提示してください。※「三宮中央通り駐車場」の利用割引はできません。

「動物サポーター」大募集!!

王子動物園では、平成17年より「動物サポーター」を募集しています。

この制度は、動物園を支援していただける企業・

団体などや個人の方からご寄付いただき、

動物たちのエサ代や動物舎の整備などの運営費用に充てるといものです。

動物園をより身近に感じていただき、みなさまに支えられながら、

動物園の活性化を進めていくことを目的としています。

法人サポーター

対象は企業・団体などで、年単位でご寄付をお願いしています。寄付金額は対象動物ごとに異なり、動物舎の前などに、企業・団体の名称を記載したプレートを設置します。なお、プレートに宣伝広告等は記載できません。詳しくは動物園にお問い合わせください。

個人サポーター

対象は個人の方で、年単位でご寄付を募っております。なお、寄付金額は右の表のとおりです。寄付はふるさと納税の対象となるため、税金の控除が受けられます。ご寄付をいただいた方については、お名前を園内の支援者一覧に掲示（※1）し、年間パスポートや機関誌などを進呈します（※2）。

※1 希望される方のみ

※2 神戸市内在住の方、7,000円寄付の方、中学生以下の方には、年間パスポートは進呈できません

年間サポート料金	
大人	7,000円
	10,000円/一口
中学生以下	1,000円/一口

〒657-0838 神戸市灘区王子町3-1 TEL 078-861-5624 HP <http://www.kobe-ojizoo.jp>

入園時の注意 ※動物にいたずらをしたり、食べ物を与えないでください。 ※イヌやネコなど、ペットを連れての入園はできません。 ※ボールなどの遊具の持込はできません。 ※園内での飲酒は禁止されています。 ※園内は全面禁煙です。

2022年8月発行 Habataki 2022 SUMMER / AUTUMN